

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【公表番号】特表 2007-502805 (P2007-502805A)

【公表日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2007-006

【出願番号】特願 2006-523678 (P2006-523678)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

A 6 1 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/232

A 6 1 P 21/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 13 日 (2007.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

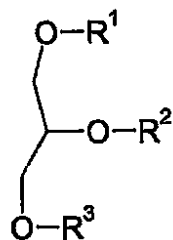
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 以上の脂肪酸部分でエステル化されたグリセロール部分を含む特定構造の脂質グリセリドを含む、多発性硬化症を処置するための、多発性硬化症の処置用の医薬の製造のための、医薬組成物であって、

以下の式 I I

【化 1】



(式中、 $\text{R}^1$ および $\text{R}^3$ は、同一でありそして、 $-\text{CO}-(\text{CH}_2)_n-\text{CH}_3$ ( $n$ は 4 ~ 14 から選択される)であり、そして

$\text{R}^2$ は、 $-\text{リノレノイル残基}$ 及び $\text{ジホモ}-\text{リノレノイル残基}$ から選択される)

の脂質であることを特徴とする、  
前記医薬組成物。

【請求項 2】

医薬が、患者の末梢血単核細胞から自然放出された TGF- $\beta$ 1 / TNF $\alpha$  比を健全なレベルに回復させる、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

医薬が CNS 病変を修復する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

医薬が筋痙縮および / または痛みを軽減する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

医薬が再発を排除する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

医薬が 1 年の処置期間で E D S S スコアを少なくとも 1 単位改善する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

医薬が、患者の 2 . 5 より高い E D S S を 1 年の処置期間で 2 未満に回復する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

医薬が膀胱制御を改善する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

脂質の投与量が 1 日 1 ないし 2 0 g の間であることを特徴とする、請求項 1 - 8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 1 0】

脂質の投与量が 1 日 3 ないし 5 g の間であることを特徴とする、請求項 1 - 9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 1 1】

脂質が、

グリセロール 1,3-ジデカノエート-2-オクタデカトリ (6-Z,9-Z,12-Z) エノエート、及び

グリセロール 1,3-ジデカノエート-2-エイコサ-(8Z,11Z,14Z)-トリエノエート

から選択されることを特徴とする、請求項 1 ないし 1 0 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。